

ふくりんの窓



絆棟2Fの機能的な事務所が本格稼動



事務室は、固定席を作らないフリーアドレス型でデスク利用の自由度が非常に高いレイアウトとなっています。外の陽射しがたっぷりと入り自分のペースで

落ち着いて業務に取り組むことができる環境です。職員は、空いている席を自由に使うことができ、セキュリティー対策も万全です。

また、会議室、広報室、休憩室等も完備しています。会議室には、天井据付式の大型プロジェクターを設置。会議、各種研修会などに活用しています。



大きいお芋、細いお芋、長いお芋、たくさん掘れました。



10月12日(月)の午前中に農耕班が管理する畑で恒例のさつま芋堀りを行いました。参加した利用者は、職員が軽く掘り上げた土の中からたくさんのお芋を手にして満面の笑みをうかべていました。

今年のお芋は、利用者の手よりずっと大きなものばかりでしたよ。お味の方は、いかがですか?



今年度は、コロナウイルス感染症の関係で規模を縮小しての開催となり全利用者に参加してもらえず残念でなりません。来年度は、きっとみんなでお芋堀りができる事を願っています。

しいのみ園への寄付金のご報告

ご寄付ありがとうございました。

50,000円 長岡 陽子様、園部 恵美子様
30,000円 勝又 宏子様

お預かりした寄付金は大切に使わせていただきました。尚他にも多数ご寄付いただきました。

2020年度夏祭り

今年度は新型コロナウイルスの影響により、小規模で夏祭りを開催しました。感染症対策として、アルコール消毒やソーシャルディスタンスを確保しました。全10グループに分け、焼きそばやフランクフルト、お好み焼き等を用意し、輪投げなどのゲームを楽しみました。

来年度は従来通り、盛大な夏祭りを開催できる事を祈っております。



しいたけ栽培に使うための植林について



しいのみ園では林産班にてしいたけの栽培を行っており、原木を購入し、職員と利用者様で原木に菌を打ちしいたけを育てております。今年度より、しいのみ園に因んで【クヌギの苗木】を植林し3年後を目途に原木とし使用する予定でございます。また、その【クヌギの苗木】は林産班職員、林産班所属の利用者様が一緒に水やりや消毒を行い出来るだけ大きく健康に育つように努めています。



編集/広報委員会



今年度は例年と異なる状況下でも利用者様が楽しめる行事を職員一同で考え、新型コロナウイルスへの感染症対策も行い、安全な環境下での夏祭りや芋堀り大会を実施し、夏祭りでは催し物として輪投げ・太鼓を用意し、少しでも夏祭りを感じることができるよう準備させて頂きました。また芋ほり大会では参加利用者様が笑顔で元気にお芋を掘る姿を見ることができました。



現状、新型コロナウイルス拡大状況が続いているが、健康管理部を中心に日々の健康管理を行い、今後も利用者様に楽しみある生活・支援が行えるよう努めていく所存です。

令和3年
1/1 発行
第15号

ふくろう通信



発行／社会福祉法人 心友会 しいのみ園グループ 理事長 武田 昇
〒266-0003 千葉市緑区高田町1953番地1 E-Mail info@shinyukai.jp
TEL.043-291-2941 FAX.043-291-2181 URL https://www.shinyukai.jp/

法人の基本理念 親亡き後の子供たちのため、国際社会、地域社会で人間らしく、安心・安全・共生できる心豊かな施設づくり。



**One Heart One Team
One SHIINOMIEN.**

私たちは、いつも一人ひとりの個性や想いを大切にしています。



新型コロナウイルスの世界規模の感染拡大により、私たちの生活は一変しました。国による「3密」を避けた「新しい生活様式」が求められています。しいのみ園でも、アルコールによる手指消毒は勿論、多彩な感染予防対策を法人全体で取り組んでいます。また、入館時の体温測定や面会、外出の制限などを実施させていただいており、ご利用の皆様、保護者様、関係者の皆様のご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。さらに、勤務や日課、諸行事なども全面的に見直すこととなり、「新しい生活様式」に即した「新しい支援様式」が求められ日々の支援業務の改善を行っております。



新型コロナウイルス感染の収束のために、本年も引き続き、利用者様の安心、安全を第一に、緊張感を緩めることなくOne Heartをスローガンに職員一同、心ひとつにして施設運営に取り組んでまいります。



心友会は、日本福祉施設士会会員です。「福祉QC」活動を主体に「福祉サービスの質の向上」に取り組んでいます。



理事長 施設長

武田 昇

福祉施設士

職員アンケート

しいのみ園は、一人ひとりの個性と想いを大切にしています。

しいのみ園って、どんな法人、職員はどんな想いで働いているの？

気になるしいのみ園のさまざまな一面を紹介するために職員アンケートを実施しました。

しいのみ園は、職員一人ひとりの想いを大切に受け止めながら、いきいきと働き続けられる職場を目指しています。

データで見るしいのみ園

平均年齢

正職員、EPA、契約職員

37歳

(2020年10月現在)

男女比

正職員、EPA、契約職員

男性48% 女性52%

(2020年10月現在)

平均勤続年数 平均有給取得日数

正職員のみ

正職員のみ

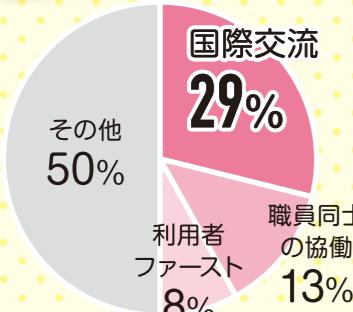
7.5年

(2020年10月現在)

年間98日

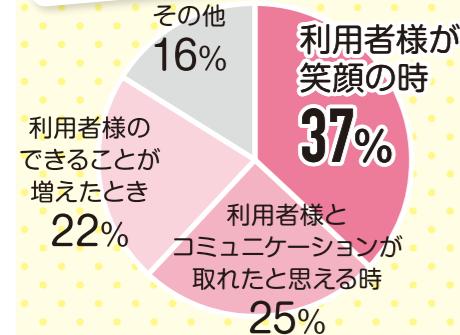
(2020年10月現在)

自慢できる法人の風土・文化は何？



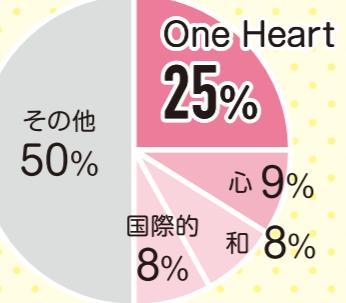
その他として、「QCの取り組み」「事業種が豊富」「新しい発想を取り入れやすい」「活発な意見交換ができる」などがありました。

仕事で楽しいと感じる時はどんな時？



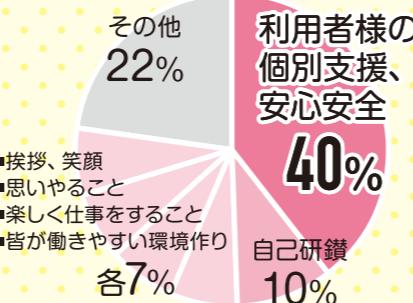
職員がイメージする組織風土・法人文化は、「国際交流」「One Heart」などが高ポイントとなっています。また、多くの職員が仕事の中で、利用者様との関わりにおいて「利用者の個別支援、安心安全」「利用者様が笑顔の時」「利用者様とコミュニケーションが取れたと思える時」「利用者のできことが増えた時」などを大切にして、やりがいを感じていることがアンケートでわかりました。

法人の特徴を一言で表現すると？



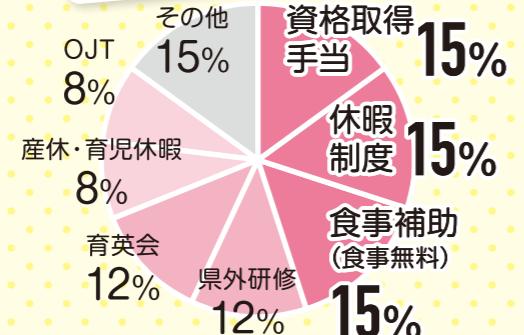
その他として、「挑戦的」「地域NO.1」「職種融合」「明るい」「地域の懸け橋」「元気な職場」などがありました。

仕事で大切にしていることは何？



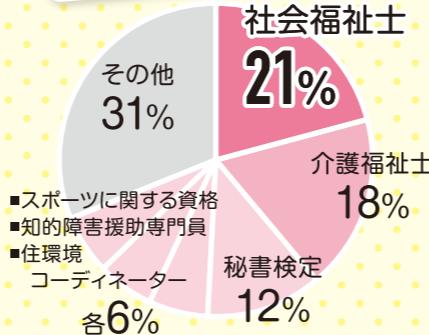
その他として、「職員同士のコミュニケーション」「優しい声かけ」「報告・連絡・相談」「初心」などがありました。

あって良かったと思う社内制度は？



その他として、「QC活動」「柔軟な勤務体制」「EPA事業」「退職金制度」などがありました。

取得したいと思う資格は？



その他として、「美容師」「保育士」「知的障害福祉士」「看護師」「認知症ケア専門員」「公認心理士」などがありました。

※知的障害援助専門員は新人以外は100%取得

新型コロナウイルス対策

心友会での新型コロナウイルス対策について、ご紹介させて頂きます。

2020年は新型コロナウイルスという、未知のウイルスの感染拡大により、職員たちにも施設内感染をどう防ぐのか、いつ自分が感染してしまうのか、いつ他の人を感染させてしまうのか、というストレスも増えました。

また、施設としても色々な制限の中、普段通りの事業が難しくなりました。感染防止のために「Stay home」が原則となっている中でも、医療従事者や福祉職員、公共の従事者等は今まで通り、職場に出向いて仕事をしないと回りません。

むしろ、日常生活の中での様々な制限で利用者は環境が変わり、体調が悪化したり、不穏になったりする方も増えてしまい、職員の不安や負担は増えている状況です。

そのような日々の中、心友会の職員一人ひとりが感染症対策を徹底し、保護者会の方々と一緒に感染防止に努めています。どれだけ対策を取っていても、どの施設でも、また誰でも感染する危険性はあります。万が一、感染者が発生した場合でも、冷静に対応できるよう準備をしておくことが大切です。



健康管理部
十枝 英理
保健師

『新型コロナウイルス感染症心友会対応マニュアル』を作成

対策本部長 武田昇を中心に「しいのみ園コロナウイルス対策本部」を立ち上げ心友会対応マニュアルを作成しました。対応策を先行的・計画的に実施し、感染予防に努めています。



『保健室だより』を発行

健康管理部では『保健室だより』を発行し、職員や利用者、その保護者の方に新型コロナウイルス感染症等についての知識の普及を図り、感染対策についての国や県、市町村の最新情報を発信しています。



保護者会との打ち合わせ会議の開催

県内の施設内における新型コロナウイルスクラスター発生を踏まえ、新型コロナウイルス感染症予防対策の為の職員、利用者のゾーニング図の作成、面会制限や外出制限、帰省制限等について、施設側からの一方的なお願いにならないよう、保護者の方々からのご意見、ご要望も積極的に頂き、話し合い、一丸となり、新型コロナウイルスの施設内集団発生防止に努めています。



『しいのみ園の行事開催』について

千葉県が「特定警戒都道府県」とされ、緊急事態宣言が中々解除されない状況の中、新型コロナウイルスの感染予防について衛生管理を徹底した中、担当者と細かく協議し、バーベキュー大会や夏祭りの規模を縮小した上で楽しく実施し、感染者を出ことなく行うことができました。



コロナウイルス感染症予防対策の中での避難について

災害により停電や断水が発生した場合の利用者の感染予防についての対策を検討し、職員間で共有しています。

PCR検査を受け、結果が出るまでの(コロナ疑い)対応について

結果が出るまでの期間の施設やグループホームでの必要物品のチェックリストを作成し、不足品の準備をしました。また、イエロー対応についての再確認、検討をしました。

以上、健康管理部の新型コロナウイルス関連の対応です。